令和６年３月 15 日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

～学校給食×SDGsの取り組み～

災害用の備蓄アルファ米を学校給食で提供しました

当市では、災害用の備蓄アルファ米につきまして、定期的に循環備蓄を行っております。また、令和３年３月に吉川市 SDGs 推進方針を定め、これまで SDGs の取り組みを進めてきたところです。

そこで、その取り組みの一つとして、今年度、入れ替えをした賞味期限内のアルファ米を食材として活用し、学校給食で提供しました。これは、身近な学校給食を通じて、児童生徒が SDGs への理解を深め、自主的に SDGs に取り組むきっかけづくりと、学校給食センターにおいて日頃より実践する食品ロス防止の観点から実施したものです。

３月 12 日、米と肉、トマトなどの野菜が入ったウズベキスタンの家庭料理「マスタヴァ（米入りトマトスープ）」にアルファ米を使用し、学校給食で提供しました。

なお、児童生徒の皆さんには、給食時間に校内放送される「給食通信」と毎月発行される「給食だより」で、災害用の備蓄アルファ米とこの取り組みをお知らせしています。

【給食を食べた子どもたちの感想】

「お米の甘さがスープに出ていて、とても美味しかった」「備蓄されているものが、無駄なく食べられて、SDGs だと思った」「ウズベキスタンの料理にお米が入っているのがびっくりした」

当日のメニュー（小学校）

〇牛乳
〇ご飯
〇マスタヴァ（米入りトマトスープ）
〇ハンバーグのシャリアピンソース
〇ブロッコリーのガーリックソテー

この件に関するお問合せ先

● お問合せ：教育部　教育総務課　学校給食センター　青柳　☎048・940・0790

記事提供：政策室　広聴広報担当　松本・畑尾　☎048・982・5112